

湊小学校



平成28年(2016年)冬休み号

学校長 小谷 雅之

さあ、いよいよ2学期も終わり、各学年とも3学期を残すだけとなりました。保護者の皆様方には、風邪などひかず健康でお過ごしでしょうか。今年は、インフルエンザの流行に加わり、ノロウイルスも型の異なるものが出回っているようですので、親子共々予防をし、年末年始を元気に過ごしていただきますようお願いいたします。

さて、振り返りますと、4月当初と比べ、子どもたちは確実にひと回り大きくなって2016年を終えようとしています。先月11月の学校開放月間では、各学年とも学習に、社会見学に、それから生のミュージカル劇の鑑賞、あるいは学年めぐりという全校児童の前での発表と、様々な体験を積み重ねて来ています。6年生は修学旅行も立派な態度で学習してきました。このように自分の目や耳で直接、見聞きしていくことで、成長していることは間違いありません。また来年も楽しみな子どもたちばかりです。子どもたちは、よく頑張った事を自分の経験として蓄え、もっともっと大きくなって欲しいと願います。同時に、保護者の方々には学校行事へのご協力だけでなく、授業参観や人権教育講演会への参加なども含めて、本当に有り難うございました。今年最後のお願いとして、一年間頑張った子どもたちにおうちでもねぎらいの言葉をかけてあげること、子ども自身が来年への励みとできるようご指導、ご協力をお願いします。

80年越しの友情

先日、「和歌山新報」という新聞に、「友情のメダル」80年という記事がありました。

話は、1936年のベルリンオリンピック(ドイツ)での棒高跳び競技のことですが、桐蔭高校の西田さんと西舞鶴高校の大江さんが同じ記録(2位あるいは3位)になってしまいました。だけど、同じ日本人同志で争うことはない。と意見が合ったので、競争を避け、2,3位決定戦を辞退し、日本へ帰国した後、銀と銅のメダルを半分づつ、つなぎ合わせたメダルを作成したということです。その話がきっかけとなり、エピソード誕生から80年を記念する2016年に、両校でクラブ交流会を開き、新たな友情を誓ったという内容でした。

勝敗を第一に考えがちなオリンピック競技においても、人の心の広さ、豊かさ、友情の絆を考えさせられる記事でした。本校の児童も、小・中学校の長い間、勉強や遊びを共にすることが多いですが、そんな時こそ、お互いの友情を深め、分かち合いながら、良い所をお互いに大きく伸ばしていって



◎子どもたちへ・・・冬休みは

- ☆ 大掃除のお手伝いをしましょう。
- ☆ 食べ過ぎに注意しましょう。
- ☆ 風邪をひかないように注意しましょう。
(うがい、手洗い、マスク着用など)
- ☆ 新学年を見据えて復習もやっておきましょう。



★暗くなるのが早いので、家へは早い目に帰るようにしましょう。

学力テストの平均正答率は・・・？

先日、学力とスマホ、携帯等との関係がインターネットに掲載されているのを見ました。それは、仙台市教育委員会と東北大学による「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト」が研究したもので、2015年度、“平日にLINE等の無料通信アプリを使用すると、睡眠時間や家庭学習時間には関係なく、**使用時間に応じて学力が低下する**”という調査結果を発表しています。2013年度には、本プロジェクトの成果として「スマホや携帯を長時間使用するといくら勉強していても成績が下がる」という結果を出し、さらに2014年度は、LINEやカカオトークなどの通信アプリの影響についても質問項目を加えて、通信アプリの使用時間と勉強時間、数学の平均点との関係を分析し、学力低下は、アプリを使ったことによる直接の効果である可能性が高いことを発見したらしいです。皆さんはこの記事を見て今後どう考え、どう行動しますか？スマホの時間やテレビを見る時間が長いことは良くないことはわかっていますが、このように実証されると・・・とにかく、学習目標をもち、生活の計画を立てて一歩一歩努力していくことが大切だといえるでしょう。